

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-204551

(43)Date of publication of application : 13.08.1993

(51)Int.Cl.

G06F 3/06  
G06F 3/06  
G11B 20/10  
G11B 27/034

(21)Application number : 04-034057

(71)Applicant : SHIKOKU NIPPON DENKI  
SOFTWARE KK

(22)Date of filing : 27.01.1992

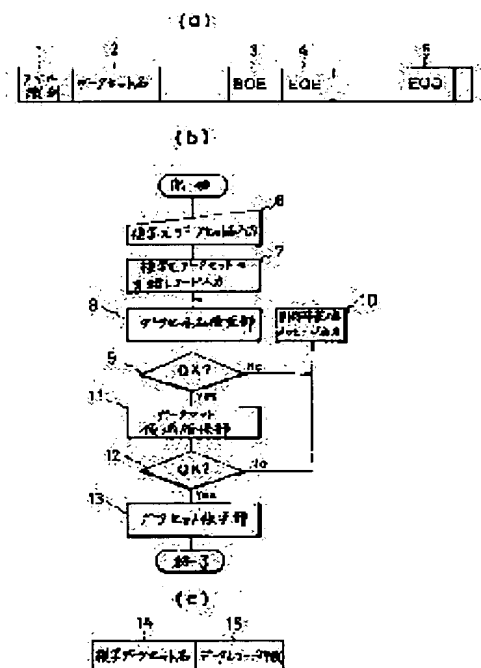
(72)Inventor : IWASAKI MASAMICHI

## (54) FLEXIBLE DISK DATA SET COPY SYSTEM WITH DATA SET AREA RESERVATION

(57)Abstract:

PURPOSE: To prevent a failure in area reservation and copying at the time of copying a data set to a flexible disk.

CONSTITUTION: A copy data set name 14 and a number 15 of data records are prepared in the first record of a copy source data set, and they are inputted to perform the check of overlapped names in a data set name check part 8, data set area reservation of a data set area reserving part 11, and data set copying of a data set copy part 13, thus preventing a failure in area reservation and copying due to misoperation.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-204551

(43)公開日 平成5年(1993)8月13日

(51)Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 3/06	3 0 1 J	7165-5B		
	3 0 4 E	7165-5B		
G 1 1 B 20/10	F	7923-5D		
27/034		8224-5D	G 1 1 B 27/ 02	K
			審査請求 未請求 請求項の数1(全 4 頁)	

(21)出願番号 特願平4-34057

(22)出願日 平成4年(1992)1月27日

(71)出願人 000180379

四国日本電気ソフトウェア株式会社

愛媛県松山市衣山4丁目760番地

(72)発明者 岩崎 正道

愛媛県松山市衣山四丁目760番地 四国日

本電気ソフトウェア株式会社内

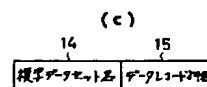
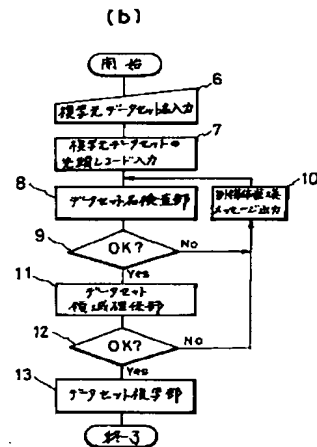
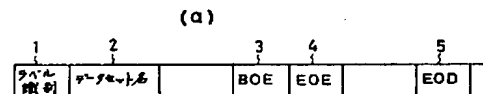
(74)代理人 弁理士 山川 政樹

(54)【発明の名称】 データセット領域確保付きフレキシブルディスクデータセット複写方式

(57)【要約】

【目的】 フレキシブルディスクへのデータセットの複写時において、領域確保、複写の失敗を防ぐ。

【構成】 複写元データセットの先頭レコードに複写データセット名14とデータレコード件数15を用意しておき、これを入力することによりデータセット名検査部8による重複名の検査、データセット領域確保部11によるデータセット領域確保、データセット複写部13によるデータセットの複写が行われ、操作ミスによる領域確保、複写の失敗を防ぐ構成にした。



**【特許請求の範囲】**

**【請求項1】** 先頭レコードに複写データセット名とデータレコード件数を持つ複写元データセットを読み込み、複写先であるフレキシブルディスクのデータセットラベルを検索しデータセット名を検査するデータセット名検査部と、前記データレコード件数により領域を検査、確保する領域確保部と、実データレコードを複写する複写部とからなり、前記複写先フレキシブルディスクのデータセットラベルに複写データセット名と同一データセットが存在する際は別フレキシブルディスクの装填を要求し、存在しない際には前記複写元データセットのデータレコード件数を格納する領域があるか検査を行い、格納する領域がなければ同様に別フレキシブルディスクの装填を要求し、格納できる際には前記フレキシブルディスクのデータセットラベルの所定の位置に、データセット名とエクステントの始めおよびエクステントの終りならびにデータセットの終りを書込み領域を確保した後、実データレコードを格納するようにしたことを特徴とするデータセット領域確保付きフレキシブルディスクデータセット複写方式。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

**【産業上の利用分野】** 本発明は他媒体にあるデータセットをフレキシブルディスクに複写するデータセット領域確保付きフレキシブルディスクデータセット複写方式に関するものである。

**【0002】**

**【従来の技術】** 従来、フレキシブルディスクに他媒体のデータセットを複写する場合には、複写元データセットのデータレコード件数を調べ、その値によりまず、フレキシブルディスクのデータセットラベルに複写先となるデータセット名およびデータレコード件数を書込み領域を確保する。その後、複写元データセット名と複写先データセット名とを指定し、データセットを複写する手段を使用して複写していた。このため、フレキシブルディスクに対する領域確保時のデータセット名入力作業とデータレコード件数入力作業およびデータセット複写手段時の複写元データセット名入力作業、複写先データセット名入力作業が操作員の手入力により行われていた。

**【0003】**

**【発明が解決しようとする課題】** この従来のフレキシブルディスクへのデータセット領域確保およびデータセット複写方式では、操作員により、データセット名、データレコード件数を手入力するため、操作員の負担が大となっており、また入力ミスによるデータセット領域確保失敗およびデータセット複写失敗を誘発する原因になるという課題があった。

**【0004】**

**【課題を解決するための手段】** 本発明のデータセット領域確保付きフレキシブルディスクデータセット複写方式

は、先頭レコードに複写データセット名とデータレコード件数を持つ複写元データセットを読み込み、複写先であるフレキシブルディスクのデータセットラベルを検索しデータセット名を検査するデータセット名検査部と、上記データレコード件数により領域を検査、確保する領域確保部と、実データレコードを複写する複写部とからなり、上記複写先フレキシブルディスクのデータセットラベルに複写データセット名と同一データセットが存在する際は別フレキシブルディスクの装填を要求し、存在しない際には上記複写元データセットのデータレコード件数を格納する領域があるか検査を行い、格納する領域がなければ同様に別フレキシブルディスクの装填を要求し、格納できる際には上記フレキシブルディスクのデータセットラベルの所定の位置に、データセット名とエクステントの始め（BOE）およびエクステントの終り（EOE）ならびにデータセットの終り（EOD）を書込み領域を確保した後、実データレコードを格納するようにしたものである。

**【0005】**

**【作用】** 本発明においては、操作員は複写元データセット名を入力するのみで、自動的に複写先フレキシブルディスクに領域の確保、データセットの複写を行うようにする。

**【0006】**

**【実施例】** 図1は本発明の一実施例を説明するための説明図で、図1（a）はフレキシブルディスクのデータセットラベルであり、1はラベル識別、2はデータセット名、3はエクステントの始め（BOE）、4はエクステントの終り（EOE）、5はデータセットの終り（EOD）を示す。図1（b）は処理の流れを示すフローチャートであり、6は複写元データセット名入力、7は複写元データセットの先頭レコード入力、8は先頭レコードに複写データセット名とデータレコード件数を持つ複写元データセットを読み込み、複写先であるフレキシブルディスクのデータセットラベルを検索しデータセット名を検査するデータセット名検査部、9はこのデータセット名検査部8によって得られる結果、10は別媒体装填メッセージ出力、11はデータレコード件数により領域を検査、確保するデータセット領域確保部、12はこの領域確保部11によって得られる結果、13は実データレコードを複写するデータセット複写部を示す。図1

（c）は複写元データセットの先頭レコードであり、14は複写データセット名、15はデータレコード件数を示す。

**【0007】** そして、複写先フレキシブルディスクのデータセットラベルに複写データセット名と同一データセットが存在する際は別フレキシブルディスクの装填を要求し、存在しない際には複写元データセットのデータレコード件数を格納する領域があるか検査を行い、格納する領域がなければ同様に別フレキシブルディスクの装填

を要求し、格納できる際にはフレキシブルディスクのデータセットラベルの所定の位置に、データセット名とエクステントの始め（BOE）およびエクステントの終り（EOE）ならびにデータセットの終り（EOD）を書込み領域を確保した後、実データレコードを格納するように構成されている。

【0008】つぎにこの図1に示す実施例の動作を図1の（b）により説明する。まず、操作員は複写元データセット名を入力する（複写元データセット名入力6参照）、その後複写元データセットより先頭1レコードを読み込み（複写元データセットの先頭レコード入力7参照）、データセット名検査部8は複写先のフレキシブルディスクのデータセットラベルを検査し、空ラベルがあるかまた複写データセット名14と同一データセット名が存在しないかを検査し、空ラベルがない場合、または同一データセット名が既に存在する場合には別フレキシブルディスク装填のメッセージを出力し、操作員によるフレキシブルディスク装填がなされた後、データセット名検査部8に戻る。そして、このデータセット名検査部8の検査に成功した場合にはデータセット領域確保部11に移り、複写先フレキシブルディスクにデータレコード数15を格納する領域があるか検査する。ここで、データレコード件数15を格納するに満たない場合には別フレキシブルディスク装填のメッセージを出力し、装填後、データセット名検査部8に戻る。

【0009】つぎに、データセット領域確保部11における検査は、既にフレキシブルディスク内に何らかのデータセットが存在する場合、エクステントの始め3とエクステントの終り4およびフレキシブルディスクの形式による格納可能件数により決定できる。例えば、両面倍密度8インチ（一般に2Dと呼ばれる）の場合、フレキシブルディスクに格納できるレコード件数は、1シリンダ、0サイド、1トラックから74シリンダ、1サイド、26トラックまでの3848レコードとなる。したがって、既にデータセットが存在すれば、この値より既存データセットのレコード件数を差し引くことで求めることになる。そして、データセット領域確保部11の検

査に成功すると、ラベル識別1をHDR1に書替え、データセット名2を複写データセット名14で書替え、エクステントの始め3を複写先フレキシブルディスクに既存データセットが存在しない場合1シリンダ、0サイド、1トラックに書替え、既にデータセットが存在する場合には、データセット領域確保部11で検査した領域の先頭位置となる値で書替え、エクステントの終り4およびデータセットの終り5はエクステントの始め3にデータレコード件数15を加算した値で書替える。この後、データセット複写部13に移り、複写元データセットを読み込み複写先データセットのエクステントの始め3の位置より順に複写を行う。

【0010】

【発明の効果】以上説明したように本発明は、操作員は複写元データセット名を入力するのみで、自動的に複写先フレキシブルディスクに領域の確保、データセットの複写を行うようにしたので、操作員の操作の軽減および操作ミスを防止することができるという効果を有する。

【図面の簡単な説明】

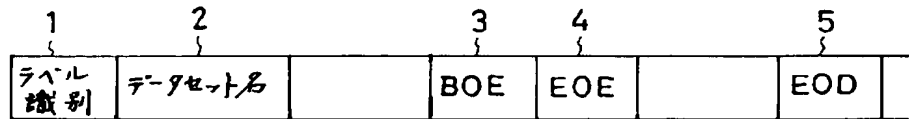
【図1】本発明の一実施例を説明するための説明図である。

【符号の説明】

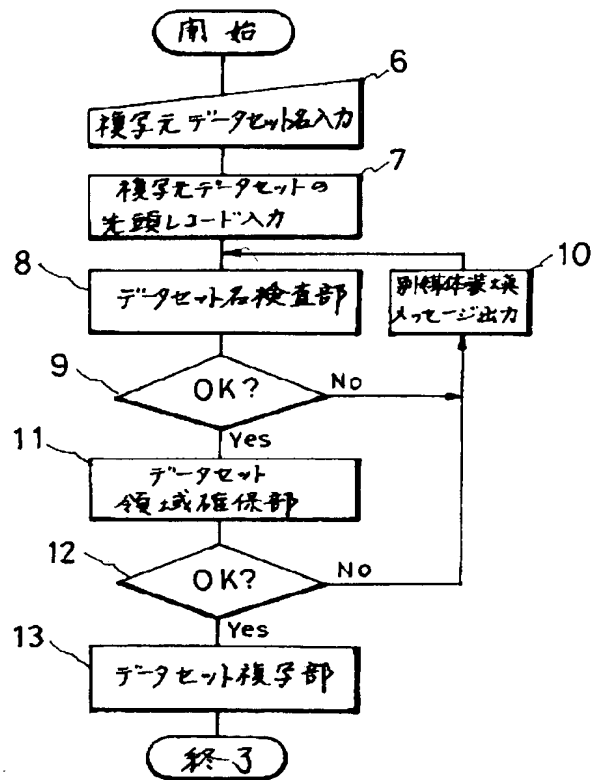
- 1 ラベル識別
- 2 データセット名
- 3 エクステントの始め
- 4 エクステントの終り
- 5 データセットの終り
- 6 複写元データセット名入力
- 7 複写元データセットの先頭レコード入力
- 8 データセット名検査部
- 9 データセット名検査結果
- 10 別媒体装填メッセージ出力
- 11 データセット領域確保部
- 12 データセット領域確保結果
- 13 データセット複写部
- 14 複写データセット名
- 15 データセットレコード件数

【図1】

(a)



(b)



(c)

